

授業科目名	現代教育課題 A (不登校・いじめ) (2100202)		
時間割名	現代教育課題 A (不登校・いじめ) (11110)		
時間割担当	増井眞樹		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

現在の学校・幼稚園においては、校内暴力やいじめ問題、青少年の非行や自殺、不登校や引きこもり、薬物乱用等が問題となっている。こうした子どもを支援するには、教師にもカウンセリング・マインドが必要だと言われている。そこでこの科目では、教育相談に関する、具体的な学校現場での事例検討を通して幼児・児童・生徒の理解と、その支援のあり方について検討する。

学習の到達目標

書籍や新聞記事を通して、現代の青少年を取り巻く課題や青少年の意識を明らかにし、不登校並びにその原因とされるいじめなどの実態を把握する。その上で、文部科学省の方針及び学校の取組を調べ、いじめ防止対策を検討する。不登校への対応は人間教育と捉え、エンカウンターなど予防的な生徒指導の方法を理解するとともに、カウンセリング・マインドを持った指導の方針実際を理解する。

授業方法・形式

- 1 主体的な学習をめざし、学生が司会進行する。
- 2 学習のテーマに関する内容の資料を持ち寄り、ディスカッションを行う。
- 3 基本知識を理解するために、教育相談などの演習を行う。
- 4 学生がリーダーになって、エンカウンターなどグループアプローチの方法を学ぶ。
- 5 不登校・いじめに関する教育課題について考えをまとめレポート・交流を図る。

授業計画

第1回	授業ガイダンス	授業方法・規律の確認、不登校の原因・現代の青少年の意識を把握する。
第2回	不登校の実態・原因	学校の目標や不登校推移グラフから実態把握。
第3回	いじめの実態	書籍や新聞記事などから、いじめの実態を把握する。いじめの定義を理解する。
第4回	いじめ防止基本方針	文部科学省・各学校の方針や取組を明確にする。
第5回	いじめ防止対策	いじめ防止対策について、学校の取組から検討する。
第5回	いじめ以外の問題	虐待・家庭問題・学校不適応への対応について理解する。
第7回	不登校に関する制度	関係機関の役割等について理解する。
第8回	生徒指導の実際	学校における生徒指導の実際を理解する。
第9回	エンカウンター	グループアプローチの方法について理解する。
第10回	エンカウンター	グループアプローチの方法について理解する。
第11回	教育相談の基礎理解	教育相談の意義・方針・指導者の姿勢などについて理解する。
第12回	教育相談演習	教育相談のロールプレイを行い、その方法や方針を理解する。
第13回	教育相談演習	カウンセリングマインドについて理解する。
第14回	授業のまとめ	不登校・いじめに関する課題について考えをまとめる。
第15回	課題交流	不登校・いじめに関する課題について考えを交流する。

成績評価の基準

毎回の授業への主体的な参加状況や課題を中心に評価する。(30%)
 エンカウンターや教育相談の演習における実践力を評価する。(30%)
 学期末レポートにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

初回の授業ガイダンスにおいて、提示される各回の授業時間外の課題及びディスカッションのテーマに関する資料収集。不登校・いじめに関する内容について、日ごろから関心を持ち、自分事としてとらえ、考えをまとめておく。

メッセージ

教材・教科書

テキスト：「いじめ問題」と道徳教育 渡邊満 平成27年4月 株式会社ERP

参考書